

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	脱さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員A	14	15	14	14		71	ご飯食べなきゃ死ぬよね。水なしでは日も生まれず、食べ物なしでは2〜3週間しか生きられない。こういう科学的な知識を踏まると少し面白いのだが、どっちみち食べなきゃ死ぬので、不思議さが薄れてしまっている。根本的な話の面白さがそこにあるような気がしてならない。最後まで読んでみれば、この設定では怖くなりようがないのではないだろうか。ただ、「引きこもり」というキーワードだけはいいと思った。「引きこもり」を題材にもう一本書いてはどうだろうか
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員B	3	3	3	3	3	15	ショートで簡単に読み返せるのに読み返さずに、誤字脱字が随分あるので確認する意味が無い気がしますし。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員C	16	16	16	16	16	80	息子が成り代わって水を要求していたのはいいけど何者だったのか...。水を飲しがるモノから想像すると、水棲の妖怪(カッパとか?)が犯人かもしれないです
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員D	18	16	16	17	18	85	部屋にいたのは息子さんだったのかそれ以外の存在だったのか、個人的には息子さんであって欲しい。亡くなってから3週間、けれど水だけになったのは2週間。それなら1週間は食事とっていい、ということでしょう。謎が多い物語ですが、とても切ない気持ちになりました。(息子さんだったと仮定して)風呂に水だけでも母に頼って欲しいと思ったのかもしれないですね。ショート怪談はインパクトが大切なので読後感には注意していただきたいです...
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員E	16	16	17	17	16	82	引きこもりは妖怪が、いるんだから話を広げやさい、部屋の中で何をしているかなんてわからない。引きこもっているうちに、何かに変化してしまったの？かと思った。少し前に観た映画の中にもあったような・・・そっちは自殺ではなかったけれど。水がなくなったのは何でしょうか、お供えているみたいにも見えるけれど、3週間閉居に亡くなったのだからもう食事はお客さんじゃないのに「ご飯食べなくて大丈夫なの？」なんて聞いたからドアを強くたたき返されたのかも。察して「くれえ」と言いたかったりして。これが、ほしい物メモで良かった。ほしいものリストになったら、いつ実話を叶えかわからないから絶死していたかも、そんな気がした。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員F	16	15	16	15	15	77	以前程は騒がれなかったけれど、現実を引きこもりは大きな社会問題になっていますね。それも、若い子に限らず、成人しても引きこもりを続けている人がいたり。欲しいものも手に入らず。大それたやり取りが想像できないで欲しい話ですね。せめて会話くらいあれば、とは思いますが、8年もの間、欲しいものメモでのやり取りを続けるなんて考えられないけれど、現実にもそういう事例があるのかな。水を要求しているのは亡くなった息子の霊？死後も尚、欲しいものメモでやり取りを続けていた？もう少し早く気づいて対応していれば息子は死なずに済んだのかな？怖さはあるけれど、やはり悲しさが強いですね。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員G	5	9	18	17	16	65	ごめんなさい、途中の誤変換から某有名声優さんの声が聞こえてきちゃって笑ってしまいました。この誤変換はとても勿体ないです。お話の内容ですが、死んでまで引きこもりなのかという点もありつつ、地縛霊ってどうやってなっちゃうのかも不思議。そう考えると引きこもりの数が増えているとされている昨今、地縛霊も増えているのでしょうか。せめて死んだあとくらいは自分から出て行ってほしいものです。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員H	11	11	13	10	12	57	怪談である事には間違いないのですが、怖さ、今一つピンと来ません。場面毎の描写は丁寧で、母親が徐々に違和感を感じ始めるなど、迫ってくる恐怖の要素が欲しいです。脱さ、ここもなんと言うか、息子が実は当人死んでいた。でも、渡した水は全て空になっていた。淡々とすすぎすぎて、母親の心情も伝わって来ない。悪い事引き起こりた息子や死んでいる妖怪など、何かが何か？が明かされない所でしょうか。ユーモア、ここは特には感じませんでした。情報量が少なすぎて、引きこもりの描写、ほしい物メモの描写、深奥な社会問題ですが、そこを持ってきて怪異に繋ぐ、死んだ息子は、その水を要求してきたモノに殺されたのか？それとも、死んだから成りすましてやっていたのか？いずれにせよ、後述はあるものの安は一切見せず、と言う点での評価となります。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員I	11	12	11	10	11	55	水を要求されて渡らなかったから3週間たってなかったってことですか？水がなくなっている状態だったのかもしれないなあ。当惑してやり過ごすこともできるし、あまりないことだととは思っだけれど故障かな？と思わないのはやはり「つ・か・れ・て・い・る」ようだ。こういう日常の情景を切り取って文字にしてみると、それだけの事なのに面白く感じる。ここ文章量の信号機は自分にもあるのか、どうなったのだろう。こちらはどのような風にも想像できる。想像の余地も大分だが、余力があるのだから、使ってみてもいいのではないだろうか。ちなみにタイトルからは「怪談」を想像してしまい、ちょっとシニカルなギャグに感じてしまった。疲れてただけ、みたいな。
1473	ほしい物メモ	京羽太郎	一般審査員J	16	15	15	13	16	75	部屋の中で水を飲んでいたのは、何だんだんが気になる。ノックを返したのも何だんだんだかからなくなって、とても怖くなった。
			合計	126	128	139	132	137	662	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	脱さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員A	15	14	15	16	15	75	俳句のような怪談。短い故に、余韻がある。し、か、し、余韻があるということは俳句や短歌ではいいかもしれないが、怪談においてはそこまで重要なことだろうか。まだまだ怖さが残っているとは思いますが、バグ(ず)が働ましてそれから、どうなったのだろう。こちらはどのような風にも想像できる。想像の余地も大分だが、余力があるのだから、使ってみてもいいのではないだろうか。ちなみにタイトルからは「怪談」を想像してしまい、ちょっとシニカルなギャグに感じてしまった。疲れてただけ、みたいな。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員B	5	6	4	6	5	26	実際に信号機が壊したとしても、びっくりはしますが怖くはないかな。妖怪のたぐいかなと思いますね。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員C	12	14	14	12	14	66	自分が破れているからそう見たのか、信号が通かれているからそう見たのか、タイトルと合わせて読むと意味が分かる作品でした。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員D	17	20	18	19	18	92	脱ががずび抜けています。様々な意味で、この後安全運転できたのか心配です...
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員E	16	17	18	19	17	87	たしかに「つ・か・れ・て・い・る」と感じる、面白い。置きと捉えられるほどの状態だったのかもしれないなあ。当惑してやり過ごすこともできるし、あまりないことだととは思っけれど故障かな？と思わないのはやはり「つ・か・れ・て・い・る」ようだ。こういう日常の情景を切り取って文字にしてみると、それだけの事なのに面白く感じる。ここ文章量の信号機は自分にもあるのか、どうなったのだろう。こちらはどのような風にも想像できる。想像の余地も大分だが、余力があるのだから、使ってみてもいいのではないだろうか。ちなみにタイトルからは「怪談」を想像してしまい、ちょっとシニカルなギャグに感じてしまった。疲れてただけ、みたいな。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員F	16	17	17	18	17	85	超ショートですが、構図は非常にわかりやすく、面白さもありました。実際に信号がまばたきをしたら、きっと怖いとは違いないのかもしれない。まばたきは一瞬の事なので、もしそれを見ても、きっと見間違いだ、とか、自分は破れているんだろな、と思って片付けてしまいたいような気がする。脱さもあって良かったのですが、まばたき、にユーモアを感じてしまい、結果的に怖さが薄れてしまいました。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員G	3	3	17	7	5	35	取り憑かれていると、取り憑いている側の置きが取り憑かれている側の目に写ると言う話を聞いたことがあります。自分の置きのカメラミラじゃないカメラミラに壁の影が境界に入るので、周囲が点滅するように見えるらしいです。タイトルからすると運転手が取り憑かれたのかと思うのですが、信号機が取り憑かれていたとすると妖怪みたいなユーモアですね。ただ、万人受けはなかなかしないかなと思います。文章が短すぎることもそうなのですが、怖さとして伝わりにくいと思いますし。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員H	12	10	15	16	16	69	わずか3行で怪奇を表現。かなり野郎が要りますよね。怖さ、よく考えたら怖いよね、となりますし、それなりにインパクトもあんですが、思いつきでチャットでの怖さはあまり感じませんでした。脱さ、シニカルで短いながらストーリーとしてはきちんとしています。が、ソツとさせる様な部分が欠けているためか脱さはありません。新しさ、これは信号の中に何が？なのか、信号そのものがなにかは知りませんが、コレが、度々観ました。という書きです。信号を怪異として持ってくるとは、ユーモアさ、何だか付喪神みたいで、コレが悪いモノなのかどうか分かりませんが、存在はユーモラスですね。意外さ、やはり行でまとめたきた事です。下手したら大コケですが、仕上がりしているのが凄いです。
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員I	10	10	11	11	11	53	だからなに？？って思ってしまうしな(笑) 読者があるのかと思ったらここで終わ(笑) この房切れ感が怖いということでしょうか
1461	憑かれた	ななめごはん	一般審査員J	12	12	15	16	12	67	信号に何かが停ったのか、そう見たのかもかもしれないと思った
			合計	118	123	144	140	130	655	